

矢穴石から見る日野の石垣石材

資料〈1〉

京都府立桃山

氏名 福田拓実 鳥海成 福永七海 安居莉愛 深畑友馨 柳野こと 鈴木あんり 門戸春汰郎
【キーワード】 矢穴 岩石 石垣

1. はじめに

この研究では、日野地区の石において見られる矢穴石を元に、その矢穴石がかつて石垣の石として使用されるためにつくられたものだと予測し、始まった。矢穴のある岩石について調べたところ、その岩石の種類や矢穴の掘られた年代が分かった。

矢穴のサイズ

	1	2	3	4	5
縦	3.5	3	10	9	6
横	6	8	4	3	9
奥行	3.5	5	5	3	7

2. 目的

日野の岩石がどのようにして石材として切り出されたのかについて明らかにする。

仮説 日野地区における矢穴石は、石垣の石材として使うために掘られたものではないか。

調査方法 日野の山にフィールドワークに行き矢穴のある岩石の大きさ、種類について調べる。

4. 考察

矢穴石の形から矢穴の彫られた時代について分かった。文禄時代のものとみられる広く、浅く、丸い特徴がある矢穴と慶長時代のものともみられる深く、四角い特徴がある矢穴があった。文禄時代の矢穴がある石は慶長時代の矢穴がある石よりも大きい。また、その内のほとんどが泥岩とみられる。伏見指月城の石垣の石の種類の一部と一致するため、実際に石垣の石として使うために掘られたと思われる。

3. 結果



①真岩

②チャート



③真岩

④チャート

⑤チャート

5. まとめ

それぞれの岩石の種類を薄片を調べることで伏見指月城跡に残されていた岩石の種類と一致することを確かめたい。そして、比重や密度から切り出された岩の重さを求め、運び方を考えていきたい。また、他の城の石垣に使われている石との違いや共通点は何があるのかを調べて、それらをまとめ地域向けに矢穴のことについて知ってもらい、山を楽しんでもらうためのパンフレットを作製したい。

石垣石材のサイズ

	1	2	3	4	5
縦	140	200	120	180	180
横	89	113	110	190	95
高さ	158	195	80	45	90

引用文献

- ・脇田ほか, 2013, 京都東南部地域の地質, 産総研地質調査総合センター
- ・小和田哲男, 2020, 名城の石垣図鑑, 二見書房
- ・奥田尚, 2017, 伏見桃山城跡の石材
- ・中川ほか, 2017, 「桃山陵墓地」への立ち入り調査の報告